



銅相場
の焦点

トランプ氏の発言と米利上げ時期

橋本健一郎氏 リポート①

・アルミ

橋本健一郎氏

・スクラップ

前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年比一・九%増の六万六、四〇八t。

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)による

十一月前半は、十月の中
国貿易黒字は四九〇・六億
\$に拡大、予想は五一七億
\$。輸出は前年比七・三%
減、輸入は一・四%減、とも
に予想を下回るなどのマイナス材料もあったが、
トランプ氏の勝利を受けてのパニッシュ売りから、
株、商品とも大幅下落するも、勝利宣言の中で
インフラ整備や大規模減税にふれたこと、中
国政府が空港及び高速道路に五三七・九億元
(約七九億\$)の予算を承認したこと、十月の中
国製造業PMIが五一・二と予想の五〇・三を
大きく上回ったことからLME銅相場は大幅U
P。十一月十五日時点で五、六二〇ドル(セッ
ル)と月初価格より七九一・五ドルUPの前半
締めとなた。

後半は、十月の米小売上高が前月比〇・八
%増と予想を上回る伸びとなつたこと、アトラン
タ連銀の予測で四Qの米GDPは年率プラス
三・三%に成長するとの見通しが出たことからの
十二月米利上げ観測が台頭するなどのマイナス
材料もあつたが、トランプミクスへ。中国需給の
改善、OPECが約八年ぶりの減産合意できた
こと、イタリア大統領選挙の国民投票で憲法改
正が事前調査通り否決された事を好感し原油
の上昇を受けUP。十二月六日現在、後半ス
タート価格から四〇三・五ドルUPの五、八五
一・五ドル。銅建値七一萬円のスタート。

◆月間のドル/円レート (TTT)

一〇五・七六→一一三・三五(円)。

◆自動車生産台数
日本自動車工業会によると、自動車生産台数は
前年比三・九%減の七八万一、二六五台であつた。

◆自動車販売台数
日本自動車販売協会連合会によると、自動車
販売台数(軽除)は前年比一三・九%増の二七
万三、〇四二台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は
前年比一三・七%増の八万七、七〇七戸であつた。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によると、銅輸出は前年比で
電気銅が四七・三%増の四万四、四九五t、スク
ラップが五・三%減の二万三、九五〇t。
輸入
銅輸入は電気銅が前年比九四・四%減の二〇
一

t、スクラップが一七・五%増の一萬一、五六六t。
■前月の国内指標
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年比一・九%増の六万六、四〇八t。
日本電線工業会発表の出荷速報(推定)による
と、銅電線出荷量は前年比一〇・八%減の五万
六、八〇〇tであった。

■概況

十月の四輪車生産台数は七八万一、一六五
台で、前年同月比三・九%の減少となり、三力
月ぶりに前年同月を下回つた。
輸出は四二万三、四八〇台で前年同月比一
七%の増加。

【自動車販売】

十月の四輪車生産台数は七八万一、一六五
台で、前年同月比三・九%の減少となり、三力
月ぶりに前年同月を下回つた。
輸出は四二万三、四八〇台で前年同月比一
七%の増加。

【住宅着工戸数】

平成二十八年十月の住宅着工戸数は八万
七、七〇七戸で、前年同月比で一三・七%増
となつた。また、季節調整済年率換算値では
九八・三万戸(前月比〇・一%減)となつた。
・住宅着工の動向については、前年同月比
で四力月連続の増加となつており、利用関係
別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲
住宅ともに増となつた。

(持家)

前年同月比では九力月連続の増加(前年同
月比四・九%増、季節調整値の前月比では增
減なし)。

(貸家)

前年同月比では一二力月連続の増加(前年同
月比一・七%増、季節調整値の前月比では
三・一%減)。

(分譲住宅)

前年同月比では二力月連続の増加(前年同
月比一・七%増、季節調整値の前月比では
三・一%減)。

・分譲マンション

前年同月比では二力月連続の増加(前年同
月比一・六%増)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では二力月連続の増加(前年同
月比一・六%増)。

銅入クラップ需給は供給過剰状態

(四面より続く)

【伸銅品生産】

伸銅品生産は前年比一・九%増の六万六、四〇八tと、六カ月連続増加。このうち、内需は五万五、二一五tで二・三%増と三カ月連続プラス、輸出は一万一、一九三tで〇・〇%増と五カ月連続プラス。品種別では、銅条は二万一、六二六tで八・三%増と六カ月連続プラス、黄銅棒一万六、〇二二tで四・二%増と六カ月連続プラス。

【電線】

前年比一〇・八%減の五万六、八〇〇t。このうち、国内一〇・〇%減、輸出が三五・四%減。出荷部門別では、通信五・〇%減、電力一六・〇%減、電気機械五・七%減、自動車三・六%増、建設・電販一五・二%減、その他内需一・六%増。

【輸出】電気銅輸出が四七・三%増の四万四、四九五t。銅スクラップは五・三%減の二万三、九五〇t。

【輸入】電気銅が九四・四%減の二〇一t。スクランプは一七・五%増の一萬一、五六六t。

【見通し】

・自動車は生産が三・九%減。十一月の国内販売台数が前年比二三・九%増。生産が三カ月ぶりマイナス、販売が四カ月連続プラス。生産は三カ月ぶりに減少したが、販売が今月二桁増加!今後の動向に注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で四カ月連続の増加となつておらず、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となつた。今後も期待。・伸銅品は六カ月連続プラスの前年比一・九%増。需要の多い銅条が六カ月連続プラス、黄銅棒も六カ月連続プラス。輸出が五カ月連続プラス。

・電線は輸出が三五・四%減と大幅減。用途の多い自動車が三・六%増。全体として減少傾向。

・銅輸出は内需低迷や大幅円安を受けて地金は大幅増加、スクランプは内需不振からの発生難から減少。

・銅輸入は大幅円安や内需の低迷から地金が大幅減少、スクランプは内需不振に伴う発生難から増加。

【スクランプ需給予想】

流通在庫はトランプフィーバーを受けて銅建値が七一円に急騰したことから、銅建値六〇万円近辺の塩漬け在庫も市中に出回り供給過剰状態。

単価も一カ月間で銅建値で一八万円上昇したが、市中単価は約半分の一〇万円程度しか反映されておらず、来年までは供給过剩がつづくのではないか。

需要面に関しては、主力の自動車生産が小幅減少したが、販売が二桁増加したことや、住宅着工も二桁増だったことから来年は期待できるのではないか?

【価格・為替予想】

今月はトランプ米大統領の発言と米の利上げ時期に左右される。

トランプ米大統領発言に関しては、最近の潮流において保護主義、保守的な発言はマイナスよりもむしろプラスに受け取られる場合が多いため、受け取り方に注意が必要である。

市中が期待しているのは米国のインフレ

計画など発言、よりリアリティのある計画が期待される。

利上げ時期に関しては、雇用統計の雇用者数や失業率が利上げ条件水準まで改善し

ていることや要人の発言から年内利上げがあるのではないか?

それらを踏まえた十二月の銅価格はトランプ米大統領が米国のインフラ整備などにおいてよりアリティのある発言をして、十二月の利上げが先送りされた場合、十一月一段高の六、一〇〇ドルを予測。いずれかの場合は五、八〇〇ドル。

下値はいずれの条件も達成できなかつた場合、十一月後半安値の五、五〇〇ドル。月の大統領が追加的なインフラ発言がなされ、十二月の利上げが実行された場合、十一月の米利上げ時期とその結果次第ではないか。

それらを踏まえ予測は、上値はトランプ米大統領が追加的なインフラ発言がなされ、為替は米大統領のインフラ発言や十二月の米利上げ時期とその結果次第ではないか。

铜建値に関しては六四〇~七一〇円程度と予測している。